

教育下越

新潟県教育庁下越教育事務所
http://www.pref.niigata.lg.jp/kyoiku_kaetsu/
平成24年1月19日発行 第224号

特集 学力向上推進システム活用事業
1面 学力向上パートナー事業 2面 研修会支援事業

学力向上推進システム活用事業 ～市町村支援事業報告～

昨年度から学力向上推進システム活用事業の一つとして市町村支援事業が始まりました。本年度は、多くの市町村委員会が本事業を活用し、学力向上に向けた取組を行いました。その一端を紹介します。

学力向上パートナー事業

外国語活動と英語との円滑な接続に向けた取組

阿賀町教育委員会では、外国語活動との円滑な接続と英語の指導力向上を図るため、町の英語担当教員を対象にした研修を2回実施しました。研修は、参加者による模擬授業と実践発表を中核に、地域や学校の課題に即した内容としました。2回の研修内容に連続性をもたせることで、参加者は、意欲をもって主体的に研修に取り組んでいました。研修の概要は以下のとおりです。

【第1回】平成23年8月4日（木）

- 参加者は、事前に、2学期に実施する単元の指導案や模擬授業に必要なワークシート、教具等を準備した。
- 指導案の説明後、「展開」部分の模擬授業と協議を行った。このことを通して、参加者は指示や発問、活動の改善点に気付いた。

【第2回】平成23年11月25日（金）

- 参加者は、第1回の研修を受けて指導案を修正し、授業を行った。当日は、ビデオの映像や授業の様子が分かる資料を使って実践の成果と課題を発表した。
- 事務所指導主事の講義を受け、接続期の指導計画作りに取り組んだ。参加者は、学区内の小学校の指導計画から、児童が外国語活動で体験した活動や語彙・表現等を理解し、それらを入門期の英語学習に生かすことの大切さを確認した。



国語科授業改善 ～叙述から心情や人物像を読み取る手だてについて～

聖籠町立亀代小学校では、Web配信集計システムやNRTの結果の分析等から、国語の学力向上の重点を「叙述から心情や人物像を読み取る」ことに定め、授業改善に取り組んでいます。

これを受け、聖籠町教育委員会では、亀代小学校を対象に、授業改善研修を行いました。

1 期日、テーマ

平成23年9月22日（木）

「文章中に直接表現されていない、深い心情や人物の性格を読み取る手だてについて」

2 内容

○研修1（グループ協議）

学年ごとのグループで、Web診断問題（国語）を基に、習得の程度の低い内容についての対応策を協議・発表し、参加者全員で共通理解した。

○研修2（事務所指導主事による模擬授業等）

(1)研修1を受け、Web配信集計システムの活用

と具体的な運用について助言した。

- (2)「ちいちゃんのかげおくり」による模擬授業や教科書教材その他を使った講義を行った。
- (3)質疑応答を行った。

3 成果

- 十分な時間がとれたので、参加者は各学年段階に応じた具体的な手だてについて検討・理解することができた。
- 低、中、高、各学年の教材文に照らした指導について検討することができたため、「螺旋的・反復的に繰り返しながら学習する」ことの意味や意義を理解することができた。

■直接表現されていない心情や性格を読み取るためにはどうすればよいか。

- ① 大事な言葉を見つけ、つなげて考える。
- ② ある言葉を別の言葉に置き換えて比べる。
- ③ 「対比」で考える。

○会話文
○その人のしたこ
○その人のするこ

★対象化した知識として、児童は言えますか。



研修会支援事業



Web配信集計システムを活用した学力向上を図る各学校の取組について

阿賀野市教育委員会では、8月23日に「阿賀野市学校教育研究会教育講演会」を行いました。市内全小中学校の教員が一堂に会し、Web配信集計システムの活用の実践報告と事務所指導主事の講演から、学力向上の具体策を学びました。実践報告では、次のような成果が発表されました。

- 前山小学校…月ごとの正答率一覧表を、個別指導・授業改善に役立てている。
- 安田中学校…診断問題とドリル学習の二本立てで基礎基本の定着を図っている。

講演では、次の内容を参加者全員で確認しました。①本システムを全校体制での授業改善に活用すること。②本システムは担任が自分の授業の成果や課題を把握するのに有効であること。③本システムの活用によって児童生徒の学習意欲を高めることができること。

事前に提出された、次のような課題や疑問点についても、具体例と共に検討しました。

- ・Web配信集計システムには、県と比較した実態把握のほかに、どんなメリットがあるのか。
→「自分の授業の課題が分かる」「校内研修の評価として活用できる」など。
- ・Web診断問題と単元のワークテストを関連付けるような方法はないか。
→授業直後と、ある程度の期間をおいた習得状況の評価するなど。

講演会の後半には、模擬授業が実施され、参加者は児童生徒の立場で実際の配信問題に取り組みました。

研修後のアンケートでは、参加者から次のような声が聞かれました。

- ・問題の振り返りのやり方を、ライブで学べて大変よかった。
- ・このように取り組めば効果が上がることは分かったが、取り組む時間の確保が難しい。

各担任が、これまでの実践を振り返り、Web配信集計システムの活用方法を具体的に考える機会になりました。



授業改善に向けたWeb配信集計システムの有効な活用の在り方を探る

村上市教育委員会では、村上市小学校教育研究会と連携し、授業改善に向けたWeb配信集計システムの有効活用について2回の研修会を実施しました。

【第1回 学力向上部会】

- 1 期日 6月23日(木) 15:00～
- 2 参加者 22名(村上市、関川村、粟島浦村の小学校から各1名)
- 3 内容

- (1) グループ協議
Web配信集計システムの活用状況と成果及び課題の情報交換
- (2) 事務所指導主事の指導
「授業改善に向けたWeb配信集計システムの有効活用について」



参加者は、それぞれが持参したレポートを基に協議することで、推進体制づくりや授業改善に結び付けるポイントなど、今年度の取組の参考になる多くの情報を得ることができた。それが授業改善に向けての確かな取組につながった。

【第2回 学力向上部会】

- 1 期日 12月8日(木) 15:00～
- 2 参加者 (第1回と同じ)
- 3 内容

- (1) グループ協議
 - ・Web配信集計システムを活用した授業改善の成果及び課題の発表
 - ・「有効な活用の在り方」について
- (2) 事務所指導主事の指導
「今後の取組に期待すること」

各学校から数々の授業改善への取組の工夫が発表された。どの学校でも全校体制による取組が確立し、校内テストとの一本化等効率的な運用が図られている。校内研修で診断問題の集計結果を検討し、低学年からの授業改善を推進している学校の実践等、次年度への参考となる取組が多く聞かれた。

12月末日で学力向上パートナー事業は5市町村14回、研修会支援事業は8市町村13回の実施となりました。これらの取組を通して、各学校等の学力向上に向けた取組が、より具体的なものとなり、実効性が高まってきました。本年度の成果と課題を踏まえ、基礎的・基本的な内容の確実な定着と、「分かる授業づくり」に向けた授業改善がより一層進められるよう、次年度への橋渡しをお願いいたします。



前号(223号)の裏面に、来年度の小中学校初任者研修説明会予定は3月9日(金)とありましたが、3月16日(金)の誤りでした。お詫びして、訂正いたします。

